安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019

発行日 2026-4-13 **改訂日** 2026-4-13 **改訂番号** 1.04

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Agilus30™ White, FLX945

化学名又は一般名 アクリル調合物

製品コード SDS-06392 JA J

PN（部品番号） OBJ-03726, OBJ-06315, OBJ-18039

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

輸入者

株式会社ストラタシス・ジャパン
〒104-0033
東京都中央区新川1-16-3 住友不動産茅場町ビル3階
電話：03-5542-0042
Fax: 03-5566-6360

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 緊急連絡電話番号: 03-6388-0366
※海外のコールセンターにて24時間365日受付可能/日本語通訳のサポート有り

電子メールアドレス Support.Japan@Stratasys.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 印刷インキ

推奨されない用途 この製品は3Dプリンター用造形樹脂を収容したカートリッジである。通常の使用条件下では、物質はカートリッジから適切な3Dプリントシステムの内部にのみ放出される。従ってばく露は限定的である。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入） - ガス	区分に該当しない
急性毒性（吸入） - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性（吸入） - 粉じん／ミスト	区分 4
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3
区分 3 気道刺激性。	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2
区分 2 呼吸器。	
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H319 - 強い眼刺激

H332 - 吸入すると有害

H335 - 呼吸器への刺激のおそれ

H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

注意書き

安全対策

- 蒸気を吸入しないこと
- 使用前に取扱説明書を入手すること
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- 環境への放出を避けること
- 保護手袋を着用すること

応急措置

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- 漏出物を回収すること

保管

- 施錠して保管すること
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
企業秘密	企業秘密	30-50	情報なし	-	既存	-
企業秘密	企業秘密	10-30	既存	-	既存	-
企業秘密	企業秘密	10-30	情報なし	-	既存	-
企業秘密	企業秘密	1-3	既存	-	既存	-
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0.3-1	既存	(1)-558,(5)-5225	既存	(1)-558,(5)-5225
企業秘密	企業秘密	0.3-1	既存	-	既存	-
企業秘密	企業秘密	0.3-1	情報なし	-	情報なし	-
アクリル酸2-ヒドロキシエ	818-61-1	0.3-1	既存	(2)-995	既存	(2)-995

チル						
企業秘密	企業秘密	0.3-1	既存	-	既存	-
企業秘密	企業秘密	0.3-1	情報なし	-	情報なし	-
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	128-37-0	0.1-0.3	既存	(3)-540,(9)-1805	既存	(3)-540,(9)-1805
企業秘密	企業秘密	0.1-0.3	既存	-	既存	-
企業秘密	企業秘密	0.1-0.3	既存	-	既存	-
カンフェン	79-92-5	0.1-0.3	既存	(4)-613	既存	(4)-613
トリシクレン	508-32-7	0.1-0.3	既存	(4)-671	既存	(4)-671

2023年3月31日迄　化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当しない

2023年4月1日以降　化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９及び第３号別表第３

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
酸化チタン(IV)	13463-67-7	通知対象物質	2-623	<10
アクリル酸2-ヒドロキシエチル	818-61-1	通知対象物質	2-14	<10
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	128-37-0	通知対象物質	2-874	<10

表示対象物質

法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９及び第３号別表第３

化学名又は一般名	CAS番号	区分	政令番号	含有率 %
酸化チタン(IV)	13463-67-7	表示対象物質	2-623	<10

毒物及び劇物取締法

毒物

備考： 818-61-1 は不純物と定義されているため、毒物とはみなされません

4. 応急措置

一般的なアドバイス　治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移すこと。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。 呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場

合には、医師の診察を受けること。 直ちに石けん（鹸）と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。

眼に入った場合 直ちに少なくとも15分間まぶた（瞼）の裏側まで多量の水で洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 洗っている間は眼を大きく広げたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。

飲み込んだ場合 水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。 無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 医師の手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 掻痒感。 発疹。 じんま疹。 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。 灼熱感。 咳及び／又は喘鳴。 呼吸困難。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細については項目8を参照。

医師に対する特別な注意事項 過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 クラスB火災：二酸化炭素（CO2）、通常の粉末消火剤（重炭酸ナトリウム）、通常の泡消火剤（水性被膜形成泡消火剤-AFFF）を使用するか、あるいは水スプレーを使用して容器を冷却すること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 危険区域を隔離し、無用な人員及び保護具を装着していない人員の立ち入りを禁止すること。 排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること。 吸入すると健康リスク。

その他の情報 警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出／漏えい（洩）の風上に遠ざけること。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい（洩）又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法 後で廃棄するためにバーミキュライト､砂又は土などの不燃性材料を用いて製品をすくい取り容器に入れること。 製品の回収後、区域を水で洗い流すこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚､眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 指定された個人用保護具を着用すること。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。

衛生対策 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。皮膚､眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 自然発火を防止するために、この製品で汚染された吸収材は使用後直ちに水を満たした金属制密閉容器に入れること。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。 容器を密閉しておくこと。 15 ℃～27 ℃で保管すること。 出荷温度（最高5週間）は-20 ℃～50 ℃である。 可燃物保管区域に熱および裸火から遠ざけて保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法	ACGIH TLV

		作業環境評価基準 - 管理濃度	
酸化チタン(IV) 13463-67-7	TWA: 0.3 mg/m^3	-	TWA: 0.2 mg/m^3 nanoscale respirable パートiculate matter TWA: 2.5 mg/m^3 finescale respirable パートiculate matter
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール 128-37-0	-	-	TWA: 2 mg/m^3 inhalable fraction and vapor

生物学的モニタリング指標 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

設備対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる

推奨フィルターの種類 情報なし。

手の保護具 適切な手袋を着用すること 不浸透性手袋 適切な手袋を着用すること 不浸透性手袋

眼及び／又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡（又はゴーグル）を着用すること。 密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。 長袖の衣類。

衛生対策 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。皮膚､眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 自然発火を防止するために、この製品で汚染された吸収材は使用後直ちに水を満たした金属制密閉容器に入れること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 インクカートリッジ
物理状態 液体
色 白色
臭い 特異臭

臭いのしきい値 情報なし

特性	値	備考 • 方法
pH	N/A	一般的な衛生注意事項
融点／凝固点	データなし	知見なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし	知見なし
引火点	>= 100 - < 250 °C / >= 212 - < 482 °F	知見なし
蒸発速度	データなし	知見なし
可燃性	該当しない	知見なし
空気中での可燃限界		知見なし
燃焼上限:	データなし	
可燃性下限:	データなし	
蒸気圧	データなし	知見なし
相対ガス密度	データなし	知見なし
相対密度	1.10	
水への溶解度	水に不溶性	一般的な衛生注意事項
他の溶剤への溶解度	データなし	知見なし
分配係数	データなし	知見なし
自然発火点	データなし	知見なし
分解温度	データなし	知見なし
動粘性率	データなし	知見なし
動的粘度	データなし	知見なし
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし

酸化性 情報なし

10：安定性及び反応性

反応性 熱すると火災のおそれ。

化学的安定性 光にばく露すると分解する。 加熱すると不安定。

危険有害反応可能性 未硬化のインクは光にばく露すると重合する。

避けるべき条件 過剰な熱。 熱および光へのばく露を避けること。

混触危険物質 通常の使用条件下および保管条件下では該当しない。 強酸。 強塩基。 強酸化剤。

危険有害な分解生成物 熱分解生成物。 燃焼：炭素酸化物。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。

機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix（経口） 99,999.00 mg/kg

ATEmix（経皮） 99,999.00 mg/kg

ATEmix（吸入 - ガス） 42,452.80 ppm

ATEmix（吸入 - 粉じん／ミスト） 1.03 mg/L

ATEmix（吸入 - 蒸気） 103.80 mg/L

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口 LD50	経皮 LD50	吸入 LC50
企業秘密	-	-	0.5 - 1 mg/L （ ラット ） 4 h
企業秘密	= 4890 mg/kg （ ラット ）	> 3000 mg/kg （ ウサギ ）	-
企業秘密	-	-	0.5 - 1 mg/L （ ラット ） 4 h
企業秘密	ラット (経口): > 2,500 mg/kg (OECD テストガイドライン 423)	> 5,000 mg/kg (OECD テストガイドライン 402)	> 1 mg/l 4 h (OECD テストガイドライン 403)
酸化チタン(IV)	> 10000 mg/kg （ ラット ）	-	= 5.09 mg/L （ ラット ） 4 h
企業秘密	> 2000 mg/kg （ ラット ）	> 2000 mg/kg （ ラット ）	-
企業秘密	-	> 2000 mg/kg （ ウサギ ）	-
アクリル酸2-ヒドロキシエチル	= 548 mg/kg （ ラット ）	> 1000 mg/kg （ ラット ）	-
企業秘密	= 588 mg/kg (ラット)	> 2000 mg/kg (ラット)	= 5.28 mg/l (ラット)
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	> 2930 mg/kg （ ラット ）	> 2000 mg/kg （ ラット ）	-
企業秘密	(ラット) LD50 = 1,590 - 3,910 mg/kg	(ウサギ) LD50 = > 2,000 mg/kg	(ラット) 1 h LC0 = 6.7 mg/l
企業秘密	>2000 mg/kg (ラット)	>2000 mg/kg	-
カンフェン	> 5 g/kg （ ラット ）	> 2500 mg/kg （ ウサギ ）	-

略語及び頭文字

ラット: ラット

ウサギ: ウサギ

症状 掻痒感。 発疹。 じんま疹。 発赤。 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。 咳及び／又は喘鳴。

製品情報

経口 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。 （成分に基づく）。

吸入 気道刺激を引き起こすおそれ。 吸入すると有害。 （成分に基づく）。

皮膚接触 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。 （成分に基づく）。 皮膚刺激。

眼接触 強い眼刺激。 （成分に基づく）。 発赤、掻痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性／刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本	IARC
酸化チタン(IV) 13463-67-7	2	グループ 2B
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール 128-37-0	-	グループ 3

凡例

国際がん研究機関

グループ2B - ヒトに対する発がん性が疑われる

グループ3－ヒトの発がん性に関して分類できない物質

生殖毒性 生殖毒性を示すことが知られている又は疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 呼吸器への刺激のおそれ。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
企業秘密	1.98 mg/l 淡水	0.704 mg/l 淡水	0.524 mg/l 淡水
企業秘密	14.4 mg/l (成長速度), Desmodesmus subspicatus (OECD テストガイドライン 201, 止水式)	24 mg/l, Brachydanio rerio (指令 92/69/EEC, C.1, 止水式)	53.9 mg/l, ミジンコ magna (OECD テストガイドライン 202, パート 1, 半止水式)
企業秘密	-	LC50: >90µg/L (96h, Danio rerio)	-
企業秘密	-	LC50: =5.74mg/L (96h, Danio rerio)	-
アクリル酸2-ヒドロキシエチル	-	LC50: =4.8mg/L (96h, Pimephales promelas)	EC50: =0.78mg/L (48h, ミジンコ magna)
企業秘密	120 mg/l (藻類)	-	120 mg/kg (ミジンコ)
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	EC50: =6mg/L (72h, Pseudokirchneriella subcapitata) EC50: >0.42mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus)	-	-
企業秘密	Pseudokirchneriella subcapitata (green 藻類) 96 h EC50 = 0.17 mg/l	Oncorhynchus mykiss (ニジマス) 96 h LC50 = 27 mg/l	ミジンコ magna (オオミジンコ) 48 h EC50 = 95 mg/l
カンフェン	EC50: >1000mg/L (72h, Desmodesmus subspicatus)	LC50: =0.72mg/L (96h, Brachydanio rerio) LC50: =150mg/L (96h, Brachydanio rerio)	EC50: =22mg/L (48h, ミジンコ magna)

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の14.02321 %は水生環境有害性が未知の成分から成る。

残留性・分解性 情報なし。

生態蓄積性

成分情報

化学名又は一般名	分配係数
企業秘密	4.52

企業秘密	2.81
企業秘密	5.8
企業秘密	2.52
アクリル酸2-ヒドロキシエチル 818-61-1	-0.17
企業秘密	-0.46
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール 128-37-0	5.1
企業秘密	2.03
企業秘密	3.8
カンフェン 79-92-5	4.22

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

追加情報 ≦5Lまたは≦5kgのサイズで輸送する場合には、環境危険有害性物質マークは要求されない。
≦5Lまたは≦5kgのサイズで輸送する場合には、海洋汚染物質マークは要求されない。

IMDG

国連番号又はID番号 UN3082

品名（国連輸送名） 環境危険有害性物質、液体、その他の危険物

説明 UN3082, 環境危険有害性物質、液体、その他の危険物 (アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 >84%), アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 <84%), 9, III, 海洋汚染物質

国連分類（輸送における危険有害性 9

クラス）	
容器等級	III
海洋汚染物質	P
EmSコード	F-A, S-F
特別条項	274, 335, 969

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

情報なし

ADR

国連番号又はID番号	UN3082
品名（国連輸送名）	環境危険有害性物質、液体、その他の危険物
説明	UN3082, 環境危険有害性物質、液体、その他の危険物 (アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 >84%), アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 <84%), 9, III, (-)
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	9
容器等級	III
海洋汚染物質	あり
ERG コード	9L
特別条項	274, 335, 601, 375

IATA

国連番号又はID番号	UN3082
品名（国連輸送名）	環境危険有害性物質、液体、その他の危険物
説明	UN3082, 環境危険有害性物質、液体、その他の危険物 (アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 >84%), アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 <84%), 9, III
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	9
容器等級	III
特別条項	A97, A158, A197, A215

日本

国連番号又はID番号	UN3082
品名（国連輸送名）	環境危険有害性物質、液体、その他の危険物
説明	UN3082, 環境危険有害性物質、液体、その他の危険物 (アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 >84%), アクリル酸と［２－（クロロメチル）オキシラン・４，４'－イソプロピリデンジフェノール重合物］のエステル (主成分 <84%), 9, III
国連分類（輸送における危険有害性	9

クラス）

容器等級 III

環境有害性 あり

15. 適用法令

国内規制

2023年3月31日迄 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当しない

2023年4月1日以降 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当しない

労働安全衛生法

表示対象物質

法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９及び第３号別表第３

化学名又は一般名	表示対象物質	閾値(%)
酸化チタン(IV) 13463-67-7	>=1wt%	1.0

通知対象物質

法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９及び第３号別表第３

化学名又は一般名	通知対象物質	閾値(%)
酸化チタン(IV) 13463-67-7	>=0.1	0.10
アクリル酸2-ヒドロキシエチル 818-61-1	>=0.1	0.10
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール 128-37-0	>=0.1	0.10

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場（労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル）。 詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

毒物及び劇物取締法

毒物 - 毒物及び劇物取締法別表第1及び毒物及び劇物指定令第1条

備考： 818-61-1 は不純物と定義されているため、毒物とはみなされません

消防法

引火性液体、第4類、第3石油類、非水溶性液体、危険等級 III、2000リットル

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法)

該当しない

化学名又は一般名	CAS番号	化審法

2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール	128-37-0	優先評価化学物質

船舶安全法
詳細については項目14を参照

航空法
詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
該当しない

港則法
詳細については項目14を参照

労働基準法
化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法
人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

下水道法
法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

化学名又は一般名	政令番号
2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール 128-37-0	28

水道法
水道法第4条、法定水質基準
水道法第4条、水質管理目標設定項目
水道法 - 要検討項目

大気汚染防止法
大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質
法第17条、第1項及び施行令第10条
大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物
大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質（HAP）

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

EINECS／ELINCS インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリ	情報なし
IECSC	
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AIIC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
NZIoC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例：

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト／非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー／欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質インベントリー
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AIIC - オーストラリア既存工業化学物質インベントリ
NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日 2026-4-13

改訂記録 SDSの余白にある記号（*）は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

消防法 消防法により製品の数量が指定数量を超えた場合には、火災、地震、その他の災害による被害を最小限に抑えるために保管と取り扱いに関する特定の制限を受ける。

凡例 8： ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA（時間加重平均）	天井値	最大限界値
*	経皮吸収	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

米国毒性物質疾病登録庁（Agency for Toxic Substances and Disease Registry, ATSDR）
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関（EFSA）
EPA （米国環境保護庁）
急性ばく露ガイドラインレベル（AEGL）
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース（IUCLID）
日本製品評価技術基盤機構（National Institute of Technology and Evaluation, NITE）
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構（NICNAS）
NIOSH（米国労働安全衛生研究所）
米国医学図書館ChemID Plus（NLM CIP）
米国医学図書館のPubMedデータベース（NLM PubMed）
米国国家毒性プログラム（NTP）
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース（CCID）
国際経済協力開発機構（International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD）の環境、保健及び安全に関する出版物
国際経済協力開発機構（International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD）高生産量化学物質プログラム
国際経済協力開発機構（International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD）スクリーニング情報データセット
国際連合世界保健機関（World Health Organization, WHO）

免責事項

この安全データシートに記載されている情報は、サードパーティの情報源から得られたものです。情報は発行日時点では正確であると信じられていますが、情報の正確性または完全性、あるいは本書で言及されている材料、物質、または混合物（総称して、「材料」）の品質または仕様に関して、いかなる表明または保証も行いません。この情報は、資料の安全な取り扱い、使用、消費、処理、保管、輸送、廃棄、および放出に関するガイドラインとしてのみ提供されています。情報はその目的上不十分である可能性があり、ユーザーは提供された情報に依存してはなりません。この情報は、本書に明示的に記載されている以外の材料または処理で組み合わされた材料には適用されない場合があります。当社は、この安全データシートに含まれる情報への依拠に起因または結果として生じる損害、損失、または費用を含むがこれらに限定されない、いかなる種類の責任についても負わないものとします。

© 2020-2025 Stratasys Ltd. 内部使用のみを目的として無制限の紙/電子コピーを作成するライセンスを付与します。この安全データシートまたはそのセクションは、Stratasys Ltd.らの事前の書面による同意なしに、公開、複製、変更、または第三者に配布することはできません。

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。

安全データシートのおわり